

愛車の健康をサポート

自動車のリサイクルは、車をつくる人、売る人、部品や資源を再利用できるようにする人など、さまざまな人が力を合わせて支えています。中でも、ユーザーと深いかかわりを持っているのが、車に長く安全に乗れるようサポートし、リサイクル部品の利用にも大きな役割を果たしている自動車整備工場です。そこで今回は、自動車リサイクル博士と一緒に、岡山県にある「大三宅自動車サービス工場」をたずね、その取り組みを見てみましょう。



白ごころの整備が故障や事故の防止につながるんだね！

長く安全に乗れるようプロが点検・整備



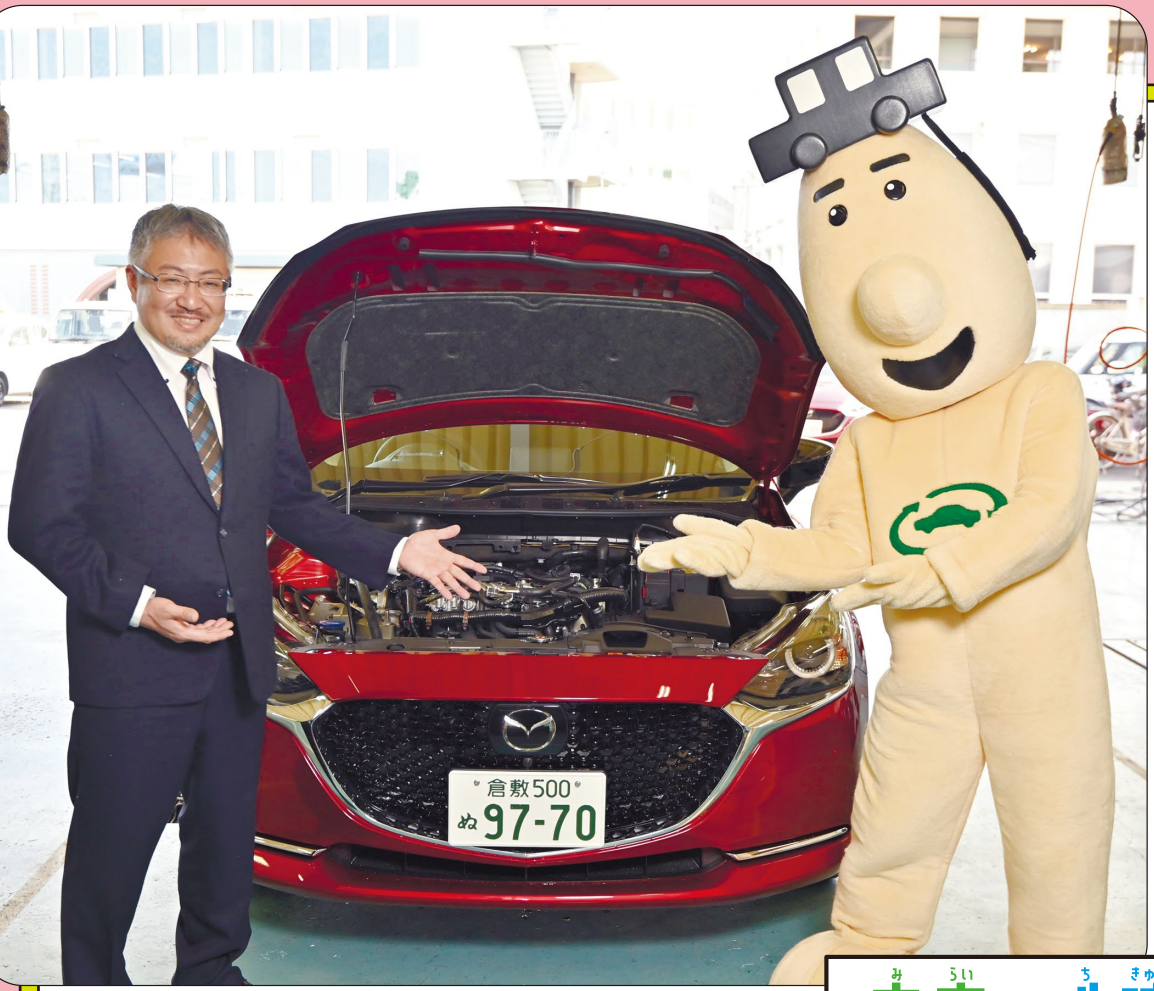
ラジエター（エンジンが冷やす部品）に水漏れがないかなど、詳しく点検する近藤さん

「車も人間と一緒に、定期的に点検・整備することで健康を保つことができます。また、お客さまには車に負担の少ない運転などについてもアドバイスしています」と話してくれました。さらに、整備の際に出た金属類やプラスチック類などは分別保管し、専門の業者に引き取りをお願ひしています。工場内の検査場を案内してくれた向原工場長は「ここは、車のスピードやブレーキ、ライトなどを調べる検査場です。今行っているのは、夜でも安全に走れるようライトの明るさや向きを調整していますと教えてくれました。また、機械で車を持ち上げ、下からエンジンを点検していた整備士の近藤さんは「車は皆さんの命を乗せて走りますから、毎回細かいところまで点検していきます」と話してくれました。ほかにも、エンジンをなめらかに動かすオイルの交換や、ブレーキの部品がすり減っていないかなど、外から見えない部分もタイヤを外して点検しています。



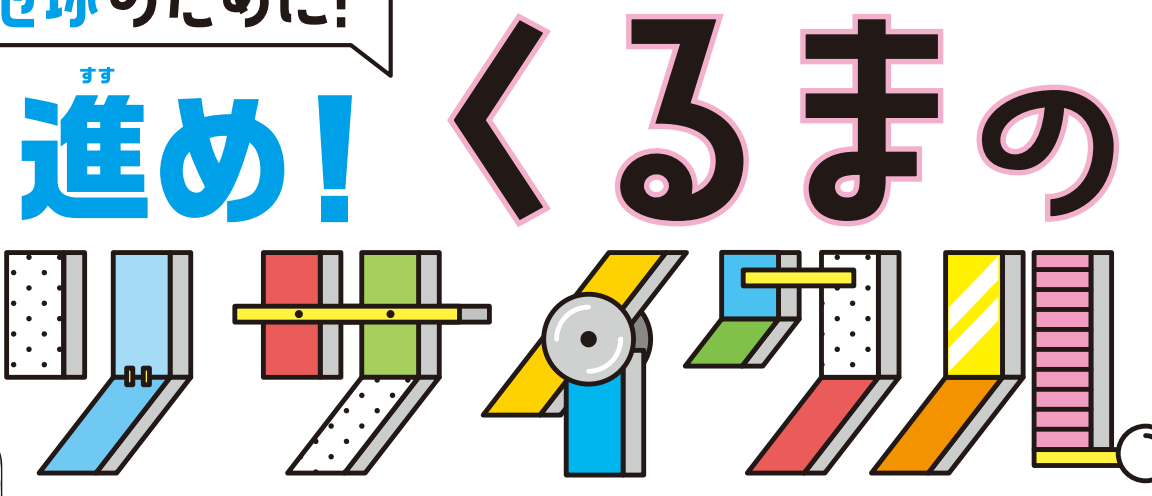
ライトの明るさや向きを調べ、正しく調整する向原工場長

厳しい目で車の状態をチェック



大三宅自動車サービス工場の三宅大樹社長は、「整備工場は車の健康を守るお医者さんで、リサイクル部品の利用も進めています」と紹介してくれました

未来の地球のために！



第2部 みんなが協力！車のリサイクル



これは動力を車輪に伝えるドライブシャフトのリサイクル部品



リサイクル部品に関する向原工場長の説明に博士も納得！



リサイクル部品を利用してゴミの削減と資源の有効利用に貢献！

「たとえば、走行中にエンジンの不調を知らせるランプがついたお客さまが来たときも、ここが悪いからコンプレッサーが教えてくれますよ」と近藤さんが話してくれました。確かな整備の経験技術に加え、こうした先進技術も積極的に取り入れる整備工場の対応が、ユーザーの安全安心を支えているのです。環境にやさしく価格も魅力！大三宅自動車サービス工場では、1年間に3000台以上の車の点検や整備、部品交換、修理などを行い、その中でリサイクル部品の利用という大切な役割も担っています。リサイクル部品には、使用済みの車から取りはずしたまだ使える部品を、しっかり検査して再利用する「リユース部品」と、取りはずした部品の構成部品の中で、交換が必要なものを新品にかえて再び組み立てた「リビルト部品」があります。三宅社長は「リユース部品やリビルト部品についてわかりやすく説明し、環境にやさしく価格にもメリットがあることをお伝えすると、多くのお客さまが新品よりもこちらの部品を選ばれます」と紹介してくれました。また、白ごころからユーザーとのコミュニケーションを大切にして信頼関係を築いていると、そうした提案をするときにしっかりと話を聞いてもらえると嬉しく思います。この日は、向原工場長がこの整備工場でも多く使うリサイクル部品について自動車リサイクル博士に説明し、博士も大きくうなずいていました。

整備の豊かな経験・知識に先進の技術もプラス！

「たとえば、走行中にエンジンの不調を知らせるランプがついたお客さまが来たときも、ここが悪いからコンプレッサーが教えてくれますよ」と近藤さんが話してくれました。確かな整備の経験技術に加え、こうした先進技術も積極的に取り入れる整備工場の対応が、ユーザーの安全安心を支えているのです。環境にやさしく価格も魅力！大三宅自動車サービス工場では、1年間に3000台以上の車の点検や整備、部品交換、修理などを行い、その中でリサイクル部品の利用という大切な役割も担っています。リサイクル部品には、使用済みの車から取りはずしたまだ使える部品を、しっかり検査して再利用する「リユース部品」と、取りはずした部品の構成部品の中で、交換が必要なものを新品にかえて再び組み立てた「リビルト部品」があります。三宅社長は「リユース部品やリビルト部品についてわかりやすく説明し、環境にやさしく価格にもメリットがあることをお伝えすると、多くのお客さまが新品よりもこちらの部品を選ばれます」と紹介してくれました。また、白ごころからユーザーとのコミュニケーションを大切にして信頼関係を築いていると、そうした提案をするときにしっかりと話を聞いてもらえると嬉しく思います。この日は、向原工場長がこの整備工場でも多く使うリサイクル部品について自動車リサイクル博士に説明し、博士も大きくうなずいていました。



コンピューターを使った故障診断を博士に説明



博士のまとめ

点検・整備で「長く安全に」を実現

ユーザーは車を長く安全に使っていく役割を担っており、それをしっかり支え、リサイクル部品の利用も促進しているのが自動車整備工場なんだ。大三宅自動車サービス工場では、ユーザーとのコミュニケーションを大切に信頼関係を築き、たくさんのユーザーが積極的に点検や整備を受けているよ。

みんなも、点検や整備の大切さを覚えておこう！

HPでは自動車リサイクルをもっとくわしく学べるよ！「博士の日記」で今までの記事もチェックしよう！

おたずねした会社

社名：大三宅自動車サービス工場
住所：岡山県倉敷市
1954年に自動車整備業として創業し、現在は乗用車の点検・整備と販売を中心にしています。

ホームページ：https://oomiyake.com/

リサイクルクイズ

次のうちリサイクル部品を使うメリットでないものは？

① 資源の有効利用
② 新品より低価格
③ 洗車が楽になる

大三宅自動車サービス工場 三宅大樹 様